

議題 新規テーマの提言について

項目 まとめ

### (会計基準レベル)

#### 前回までの基準諮問会議における提案

1. 前回までの基準諮問会議で提案、審議されている以下の項目については、事務局で検討の結果、以下の対応を提案する。なお、事務局の検討にあたっては、テーマ担当委員のアドバイスを受けている。

当初提案	項目	対応	資料番号
第 17 回	継続企業の前提が成立していない状況で適用する会計基準の開発について	前回の基準諮問会議において、「特別目的の財務諸表の監査に関する企業会計審議会の動向を見守り、その結論が出た段階で検討を行い、次回以後の基準諮問会議で検討を行う。」こととしている。現在、企業会計審議会において審議が行われている。	—
第 18 回	完全親会社が完全子会社に無対価会社分割で事業を移転する場合の会計処理	前回の基準諮問会議において、実務対応専門委員会に評価を依頼している。現在、実務対応専門委員会で評価を継続中である。	—

#### 第 19 回基準諮問会議（今回）における提案

2. 今回、会計基準レベルの提案はなかった。

### (実務対応レベル)

#### 前回までの基準諮問会議における提案

3. 前回までの基準諮問会議で提案、審議されている以下の項目については、事務局で検討の結果、以下の対応を提案する。

当初提案	項目	対応	資料番号
第 16 回	繰延税金資産の回収可能性(JICPA 監査委員会報告第 66 号関連)	前回の基準諮問会議で、ASBJ に調査を依頼することとし、今回、ASBJ より調査の報告を受けている。ASBJ の調査報告では、現在、日本公認会計士協会で作成している繰延税金資産関係の実務指針について一括して ASBJ に移管すべく審議を行うことが適切とされている。	資料(1)-2 資料(1)-3

		この調査報告の内容を踏まえ、ASBJの新規テーマとして提言することとしてはどうか。	
第16回、 第17回	リストラクチャリングに関連する引当金、早期割増退職金の会計処理	前回の基準諮問会議で、ASBJに調査を依頼しており、ASBJにおいて調査を継続中である。	—
第18回	「企業結合に関する会計基準」に係る条件付取得対価の取扱いについて	実務対応専門委員会の評価を踏まえ、優先度合いは低いものとして、ASBJの新規テーマとして提言することとしてはどうか。	資料(1)-4

### 第19回基準諮問会議（今回）における提案

4. 以下の項目については、事務局で検討の結果、以下の対応を提案する。

項目	対応	資料番号
リース手法を活用した先端設備等投資支援スキームに係る会計上の取扱い	<p>提案では、「本スキームは、日本再興戦略の一環として実施しようとする施策であり、仮に産業競争力強化法案が国会で成立し、予算の裏付けが果たした場合には、来年の早いタイミングでの施行が求められるという点で緊急性が高いものであるため、施行後すみやかに施策を実施できるよう、可及的すみやかに、上記に係る会計上の取扱い、考え方について広く一般に示して頂きたい。」とされている。</p> <p>通常であれば、実務対応専門委員会に新規テーマの評価を依頼し、次回以後の基準諮問会議で検討を行うこととなるが、上記の提案内容の緊急性を踏まえ、今回の基準諮問会議において、ASBJの新規テーマとして提言するか。</p>	資料(1)-5、 参考資料
商品デリバティブ取引に係るヘッジ会計関連規定について	技術的に難易度の高いテーマと考えられるため、実務対応専門委員会に新規テーマの評価を依頼してはどうか。	資料(1)-6、 参考資料

### 後発事象に関する第18回基準諮問会議での提案

5. 第18回基準諮問会議において、後発事象について、新規テーマ提案がなされた。後発事象については、現在検討は中断しているものの、ASBJの審議中のテーマである。したがって、ASBJの審議状況について、資料(1)-7にまとめている。

**前回までの基準諮問会議で提案され保留となったテーマ**

6. 以下のテーマについては、前回までの基準諮問会議で提案され、保留となったテーマである。

(会計基準レベル)

- 比較情報（第16回基準諮問会議提案）
- 金融商品の消滅の認識（第16回基準諮問会議提案）

(実務対応レベル)

- 種類株式の会計処理（第16回基準諮問会議提案）
- 現物分配の会計処理（第16回基準諮問会議提案）
- 契約に含まれるリース取引（第16回基準諮問会議提案）
- ポイント引当金（第17回基準諮問会議提案）

以 上